

影写技術と 文字の研究

—文字の影を追う—

と

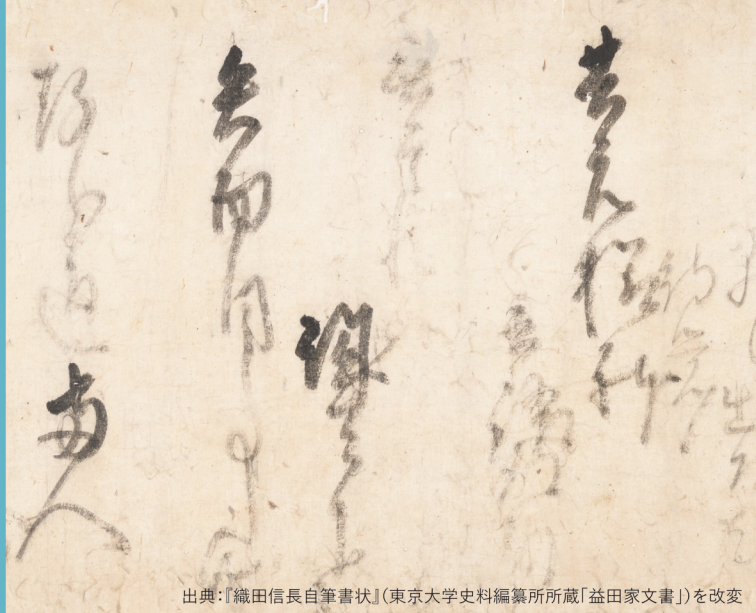
事前申込
不要

参加
無料

直接会場へ
お越しください

影写えいしゃとは古文書の文字の筆跡を忠実に再現する技術です。筆跡を追うとどんな世界がひろがっているのでしょうか。講師の宮崎肇先生は、東京大学史料編纂所にて、筆跡・筆法研究の一環として影写業務も担っております。今回、その技術や研究成果をご紹介します。今回は、また、高田智和先生をコメンテーターとしてお迎えし、文字研究の視点からデイスカッションを深めます。活字にしてしまつては見えにくい、古文書の息遣いまでお楽しみいただけましたら幸いです。

武庫川女子大学歴史文化学会は、歴史文化学科専任教員と学生を会員とし、歴史学や関連諸分野の学術研究の発展、会員間の研究交流の促進を目的に、2025年度から新たに発足した学会です。会誌『歴史文化』の発行をはじめ、さまざまな事業をおこなっています。



出典:『織田信長自筆書状』(東京大学史料編纂所蔵「益田家文書」)を改変



織田信長自筆書状影写風景

2026年 6月13日[土]

14:45~16:45 14:00開場、
16:45~学会総会(会員のみ)

武庫川女子大学文学2号館 L2-11教室

古文書を写すということ

—中世の「案文」から近代の「影写」まで—

宮崎 肇 (東京大学史料編纂所史料保存技術室(影写) 特任研究員)

コメンテーター 高田 智和 (国立国語研究所研究系教授)

コーディネーター 井上 幸 (武庫川女子大学文学部歴史文化学科准教授)

講演

主催

武庫川女子大学文学部歴史文化学科

共催

武庫川女子大学歴史文化学会

JSPS科研費24K21368「史的文字字形通覧基盤に基づく
史的文字の字形情報記述法の確立」(代表:高田智和)



影写技術と 文字研究

— 文字の影を追う —



【宮崎肇(みやざきはじめ)】

1972年、神奈川県生まれ。東京大学史料編纂所史料保存技術室(影写)特任研究員。早稲田大学、明治大学非常勤講師。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門は日本中世史・文字文化史。関連業績に「歴史的な文字分析の視点をめぐって」(高田智和ほか編『漢字字体史研究 二』勉誠出版、2016年)、「影写作業と運筆情報記録について」(『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』97号、2022年)。特に史料学、筆跡論、書道的観点から各種共同研究に参画するほか、早稲田大学で書道(書写)の指導にあたられている(主な作品『茶の湯以前』(神奈川県立金沢文庫特別展展字、2024年)、『金沢文庫本』(同前、2025年)、『北条幻庵』(横浜市歴史博物館企画展展字、2025年)。第4回青山杉雨記念賞受賞。論文「中世書流の成立—世尊寺家と世尊寺流—」(2001年)。

【高田智和(たかだともかず)】

1975年、新潟県生まれ。国立国語研究所研究系教授。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門は国語学(文字・表記)、漢字情報処理。「変体仮名のこれまでとこれから—情報交換のための標準化—」(共著、『情報管理』58巻6号、2015年)。「加号情報の再構成」(情報処理学会研究報告2018-CH-117、2018年(人文科学とコンピュータ研究会)により、2019年度山下記念研究賞受賞(情報処理学会)。

会場のご案内



公共交通機関をご利用の場合

阪神本線「鳴尾・武庫川女子大前駅」下車、南東へ徒歩約8分

※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

